



後期役員「任命式」～令和4年度後半に向けて

10月7日（金）に令和4年度後期生徒会・学級役員
の任命式が行われました。任命された役員の方々の返
事や姿勢には、学校、学年、学級を良くしたいとい
う決意が現れていました。

令和4年度も、いよいよ後半に入りました。皆さ
んのリーダーシップと全校生徒の一致団結のもと、
令和4年度 安宅中学校の集大成へと突き進んでい
きましょう。



「当たり前」に感謝 ～10月全校集会より

私たちは、毎日、学校で授業や部活動を行ったり、
友だちと交流したりしています。また、家庭では当
たり前のようにテレビを見たり、ゲームやSNSをし
たりしています。毎日、普通に過ごしている私たち
の日常は、本当に「当たり前」のことなのでしょう
か。今年2月から始まったウクライナでの出来事は、
いまだ終息の兆しが見えません。今もたくさんの方
の命や日常が奪われています。

私たち人間は、電気や水道がある、食べ物がある、
スマホが使える、住む家があるなど、失ってはじ
めて、それが「当たり前でなかった」と気づきま
す。しかし、それでは遅いのではないのでしょうか。

私たちの身の回りには、「ありがたいこと」や「幸
せ」なことが数えきれないくらいありますが、それ
らは日常的に存在しているため、どうしても「当
たり前」と感じてしまいます。そして、いざ、不
都合や困難が起こると、不平不満やネガティブな
感情が芽生えてしまいます。そうなってしまうと、
全てが悪循環になるという負の連鎖に陥ってしま
う可能性が高くなります。さらに、ネガティブな
感情をもってしまった人どうしは互いに引き合
うという特性があります。ネガティブな感情が集
まると、その度合いは何十倍にも膨れ上がって
しまいます。

だからこそ、視野を広くし、どんなに小さな
ことでも、「ありがたい」と感謝の気持ちをも
って生活し人と関わっていくことが大切なの
ではないのでしょうか。

身の回りの日常に目を向け、「当たり前」の
ことを「有り難い」と感謝できることが人生
を幸せや成功に導くための一つの手立てであ
ると思います。



運動会の1シーンです。たくさんの方々の笑顔や幸
せな表情に出会うことができました。こんな笑顔
があふれる日常に感謝することが大切ですね。

生徒に混ざって、S先生からも温かい笑顔がこぼ
れていますね。ほほえましく生徒を見守っている
姿が印象的です。

安宅中学校の先生方は、いつも生徒のみんなの
笑顔や頑張っている姿をこんな風に温かい
気持ちで見守っています。

笑顔と感動があふれ、そして、成長できる
安宅中学校をみんなで創っていきましょう。